

(参考)

2020年度行政評価シート（一般会計）

①行政コスト計算書

(単位:百万円)

勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	差額	勘定科目	2018年度	2019年度	2020年度	差額	
		A	B	B-A			A	B	B-A	
行政費用	人件費	20,516	20,632	20,809	177	地方税	68,341	68,990	69,459	469
	うち時間外勤務手当	820	935	845	△ 90	保険料	0	0	0	0
	物件費	19,749	21,753	27,200	5,447	国庫支出金	26,309	28,358	78,720	50,362
	維持補修費	4,188	2,813	2,560	△ 253	都支出金	18,646	20,130	22,267	2,137
	扶助費	49,060	51,532	52,129	597	分担金及負担金	1,663	1,180	615	△ 565
	補助費等	16,425	15,599	62,828	47,229	使用料及手数料	3,358	3,395	3,156	△ 239
	繰出金	16,469	17,081	15,353	△ 1,728	その他	16,228	15,502	18,246	2,744
	減価償却費	5,580	5,657	5,942	285	行政収入 小計(a)	134,545	137,555	192,463	54,908
	不納欠損引当金繰入額	117	170	248	78	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	426	71	3,161	3,090
	賞与・退職手当引当金繰入額	2,015	2,247	2,233	△ 14	金融収支差額 (d)	△ 552	△ 472	△ 450	22
	行政費用 小計 (b)	134,119	137,484	189,302	51,818	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	△ 126	△ 401	2,711	3,112
	特別費用 (g)	677	980	1,667	687	特別収入 小計 (f)	488	1,943	976	△ 967
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	△ 189	963	△ 691	△ 1,654	当期収支差額 (e)+(h)	△ 315	562	2,020	1,458	

②行政コスト計算書の特徴的事項

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	時間外勤務手当 8.5億円 会計年度任用職員報酬 28.5億円 会計年度任用職員期末手当 3.2億円	決算額の主な内訳	キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料 16.8億円 学校給食費賄材料費 9.6億円 特別定額給付金給付事業業務委託料 2.4億円
主な増減理由	テレワークの促進や各業務の見直しにより時間外勤務手当が0.9億円減少。会計年度任用職員化に伴う会計年度任用職員報酬が6.8億円増加。会計年度任用職員期末手当が3.2億円増加。	主な増減理由	国の交付金を活用し、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業業務委託料が16.8億円増加、特別定額給付金給付事業業務委託料が2.4億円増加。学校給食費公会計を開始し、賄材料費が9.6億円増加。

勘定科目	補助費等	勘定科目	扶助費
決算額の主な内訳	特別定額給付金 428.2億円 中小企業者家賃補助事業補助金 14.3億円 医療機関特別給付金 2.0億円	決算額の主な内訳	施設等利用給付費 7.4億円 障害者自立支援給付費等(国制度) 94.3億円
主な増減理由	国の交付金及び補助金を活用し、特別定額給付金が428.2億円増加、中小企業者家賃補助事業補助金が14.3億円増加、医療機関特別給付金が2.0億円増加。	主な増減理由	幼児教育・保育無償化が通年化されたことによる施設等利用給付費が3.4億円増加。事業所の新規開設やサービスの認知度の向上等による利用者の増加により、障害者自立支援給付費等が4.8億円増加。

勘定科目	国庫支出金	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	特別定額給付金給付事業費補助金 428.2億円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 35.8億円 公立学校情報機器整備費補助金 8.6億円	決算額の主な内訳	市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金 10.8億円 市町村総合交付金 39.0億円
主な増減理由	新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金給付事業費補助金が428.2億円増加、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が35.8億円増加。文部科学省GIGAスクール構想に係る公立学校情報機器整備費補助金が4.9億円増加。	主な増減理由	新型コロナウイルス感染症対策に係る市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金が10.8億円増加。普通建設事業費の増による振興支援割の増等により市町村総合交付金が2.3億円増加。

巻末用語解説（50音順）

いじほしゅうひ
維持補修費

道路、公共施設などの効用を保全するために支出する修繕料などです。

いっばんかいけいくりのいれきん
一般会計繰入金

特別会計が行政サービス活動及び一般会計繰出金の財源として一般会計から繰り入れた額です。

いっばんかいけいくりのだしきん
一般会計繰出金

特別会計が行政サービス活動の財源として一般会計に繰り出した額です。

いんぷらしきん
インフラ資産

道路、橋梁、下水道の固定資産です。これらと一体となって機能する資産を土地、建物又は工作物に分類して計上します。

かんぷみさいきん
還付未済金

過誤納金のうち当該会計年度末までに支払が終了しなかったものです。

キャッシュ・フロー
（行政サービス活動）

町田市が直接行政サービスを行うために要した現金支出、税金、国庫支出金、都支出金、業務収入、金融収入等の現金収入です。

キャッシュ・フロー
（財務活動）

外部からの資金の調達及びその償還に係る現金収入及び支出です。

キャッシュ・フロー
（社会資本整備等投資活動）

固定資産の取得及び売却、その財源としての国庫支出金等の受入、貸付金、出資金等の投資の取得などの現金収入及び支出です。

ぎょうせいこすとけいしんしょ
行政コスト計算書

行政コスト計算書は、一会計期間における町田市の行政活動の実施に伴い発生した「費用」を発生主義により認識し、その「費用」と財源としての「収入」との対応関係、及びその両者の差額を明らかにすることを目的として作成します。

ぎょうせいしゅうしきかく
行政収支差額

行政サービスを提供するのにかかる経常的なコストを表します。行政収入の合計から行政費用の合計を控除して算出します。

きんゆうしゅうしきがく
金融収支差額

金融収入と金融費用の差額です。金融収入は、受取利息及配当金です。金融費用は、公債費（利子）です。

げんかしょうぎやくひ
減価償却費

時間の経過による固定資産の価値の減少を表現したコスト項目です。

けんせつかりかんじょう
建設仮勘定

建設又は製作途中にある有形固定資産及び無形固定資産を取得するために要した支出の累計額です。

じゅんしさん
純資産

貸借対照表における資産総額と負債総額の差額です。

しょうよ たいしよくてあてひきあてきん
賞与・退職手当引当金
くりいれがく
繰入額

「賞与引当金」の当期発生額及び「退職手当引当金」の当期発生額です。

しょうよひきあてきん
賞与引当金

職員に支給される期末手当、勤勉手当及び法定福利費で翌会計年度に支払うことが予定されているもののうち当期の負担相当額です。

じんけんひ
人件費

給料、職員手当、共済費等です。

たいしやくたいししょうひょう
貸借対照表

貸借対照表は、基準日時点における町田市の資産、負債及び純資産の状況を明らかにすることを目的として作成します。貸借対照表の構成としては、左側に資産を、右側に負債及び純資産を表示しています。

たいしよくてあてひきあてきん
退職手当引当金

在職する職員全員が自己都合により退職するとした場合の退職手当要支給額です。

ちようきまえうけきん
長期前受金

下水道事業会計において、償却資産の資本形成に寄与する支出に対し充当される国庫支出金、都支出金、一般会計繰入金、受贈財産評価額及び受益者負担金等です。

つうじょうしゅうしきがく
通常収支差額

行政サービスを提供するにあたり、資金調達コストまで加味して経常的にかかるコストを表します。行政収支差額と金融収支差額の合計です。

とうきしゅうしさがく
当期収支差額

当期にかかったすべてのコストを表します。通常収支差額と特別収支差額の合計です。

とくべつしゅうしさがく
特別収支差額

経常的でなく、当期特有の事情でかかったコストを表します。特別収入から特別費用を控除して算出します。

とくべつしゅうにゆう
特別収入

固定資産売却益、有価証券及出資金の売却益、引当金の当期取崩益等です。

とくべつひよう
特別費用

固定資産売却損、固定資産除却損、有価証券及出資金の売却損等です。

ふじょひ
扶助費

生活扶助や医療扶助等、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき、町田市から被扶助者に対して直接支給される経費です。

ぶっけんひ
物件費

委託料、役務費、需用費、使用料及び賃借料等です。

ふのうけっそんがく
不納欠損額

当期に不納欠損処理（何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、その徴収を諦める処理）を行った未収金のうち、不納欠損引当金を超える分等です。

ふのうけっそんじっせきりつ
不納欠損実績率

不納欠損額の合計を滞納繰越収入額の合計と不納欠損額の合計の和で除した割合です。

ふのうけっそんひきあてきん
不納欠損引当金

未収金のうち、回収することができないと見込まれる金額です。未収金に不納欠損実績率（決算年度を含む5ヵ年分）を乗じて算出します。

ふのうけっそんひきあてきんくりいれがく
不納欠損引当金繰入額

「不納欠損引当金」の当期発生額です。

ほじょひとう
補助費等

他会計、他団体、公営企業等に対する負担金、補助金及び交付金等のうち、町田市の資産の形成につながらないものです。

みしゅうきん
未収金

年度末における調定額と収入額との差額です。「調定」とは、収入の原因、債務者、金額等を調査し、決定する行為であり、この「調定」の段階で「収入」を認識します。

むけいこていしさん
無形固定資産

公有財産のうち地上権等の用益物権、特許権や著作権等の無体財産及びこれらに準ずる権利です。

ゆうけいこていしさんげんかしょうぎやくりつ
有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合です。

